

安全安心まちづくりだより

平成29年中における
犯罪・交通事故等の状況について

平成29年の県内の刑法犯認知件数は**4,635件**で、過去最少であった昨年よりも**157件減少**しました。

罪種別で見ますと、刑法犯の大部分を占める窃盗犯が172件減少したことが大きく影響し、刑法犯全体の認知件数も減少しています。しかしながら、窃盗被害の多くは鍵をかけない状態、いわゆる無施錠の状態被害に遭っていますので、普段からの「カギかけ」など自主防犯に努めてください。

知能犯に分類されるオレオレ詐欺などの特殊詐欺については、認知件数は**49件**、被害額は**約8,000万円**でした。被害額は減少し、1億円を切りましたが、件数は11件増加しました。電子マネーの使用権をだまし取る新たな手口の出現の影響からか、被害のうち高齢者以外の占める割合が6割を超える等、若い世代にも被害が拡大しています。

家族や知人同士で注意し合うとともに、不審な電話やメールがあった場合はすぐに警察や市町村の相談窓口ご連絡するようお願いいたします。

【県内の刑法犯認知件数】

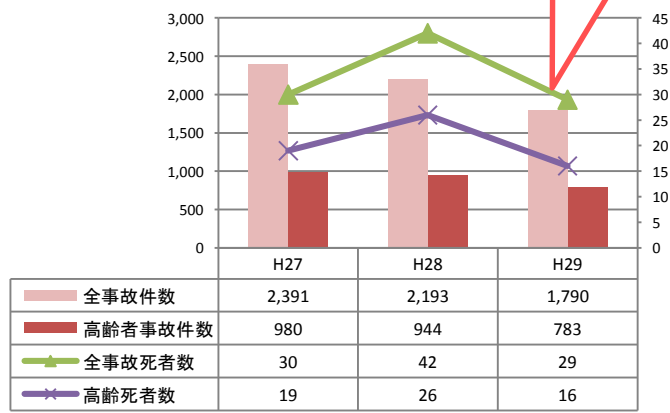
	凶悪犯	粗暴犯	窃盗犯	知能犯	風俗犯	その他	合計
H28	21	194	3,708	167	33	669	4,792
H29	28	177	3,536	196	20	678	4,635
前年比	+7	-17	-172	+29	-13	+9	-157

【特殊詐欺被害の件数及び被害額】

	被害件数	被害金額
H28	38件	約1億200万円
H29	49件	約8,000万円
前年比	+11件	一約2,200万円

死者数は最少を記録！

【県内の交通事故(人身事故)発生状況】



県内の交通事故(人身事故)の状況については、件数は**1,790件**で、前年比403件減と昨年さらに減少しました。死者数は**29人**で、前年比13人減、統計の残る昭和27年以降で最少を記録しました。また、65歳以上の高齢者の死者数も**16人**と前年比10人減となりました。

高齢者の死亡事故を形態別で見ますと、歩行中が5人、車・原付の運転中が7人、車の同乗中が1人、自転車の運転中が3人でした。

なお、昨年の県内の交通事故のうち、高齢者の事故は**783件**で、前年比161件減となっていますが、事故全体の約4割を占める傾向は変わっていません。また、高齢者の死者数が全体の半数以上を占める状況も続いています。

事故を起こさないためにも、日ごろから緊張感を持った運転を心掛けましょう。

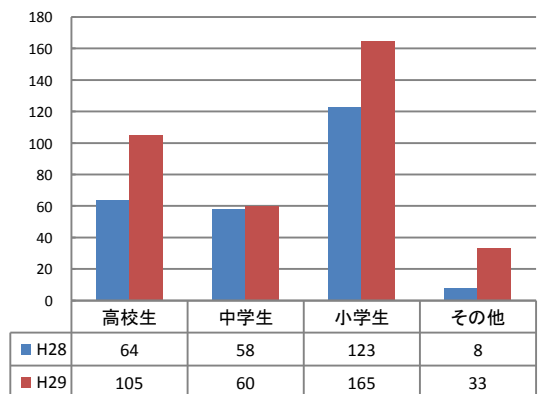
平成29年中の県内の子どもに対する声かけ事案等(声かけ、つきまとい・立ちふさがり、待ち伏せ・見張り、はいかい等)の発生は**363件**で、前年比110件増と、大幅に増加しています。

声かけ等事案の対象については、小学生が最も多く、次いで、高校生、中学生、その他となっています。また、いずれの対象も前年より増加しています。

時間別では、登校時が57件、下校時が141件、その他の時間帯が165件で、下校時や塾等の行き帰りの時間帯がより多く発生しています。

子どもに対する声かけ事案等は、性的犯罪の前兆事案でもあります。全体の刑法犯認知件数が減少する一方で、子どもが対象となった刑法犯認知件数は昨年より増加しているうえ、声かけ事案等の増加傾向が続く等、子どもが犯罪の被害に遭う可能性が高くなっています。地域の宝である子どもたちを犯罪から守るため、発生時間帯に重点を置いた取組を推進していく必要があります。

【子どもに対する声かけ事案等発生状況(対象者別)】



全ての対象で昨年よりも増加！

県警音楽隊とのコラボで特殊詐欺被害防止を呼びかけ

12月16日（土）、JR高知駅コンコースで開催された県警音楽隊の演奏会において、高知県青年団協議会会員でシンガーソングライターの森岡千晴さんと防犯特捜マホルマンが、音楽隊とのコラボによる「高知振り込まない～の音頭」を披露しました。

「高知振り込まない～の音頭」は、特殊詐欺被害防止をテーマとしたもので、高知警察署塚ノ原駐在所の島田巡查部長が考案。島田巡查部長自身が敬老会で披露しているほか、高知県青年団協議会も「安全安心まちづくりひろば」等で披露しています。

音頭披露の前には、県警本部生活安全企画課平松補佐と森岡さんの掛け合いによる特殊詐欺被害に関する講話が行われ、その後、森岡さんの紹介でマホルマンが登場。音楽隊隊員とともに、森岡さんの歌声に合わせて、踊りを披露しました。

会場には、駅の利用客を始め、大勢のギャラリーが集まり、歌と踊りに見入っていました。



配達業者と県警が地域見守り協定締結

宅急便で知られるヤマトグループの関連企業で、「クロネコエリア便」等の事業を推進しているヤマトダイアログ&メディア株式会社が、地域の安全確保に関し相互協力することを目的として、県警と地域見守り活動に関する協定を締結することになり、12月20日（木）に、県警本部において調印式が行われました。

地域見守り活動の内容は、ヤマトダイアログ&メディア株式会社傘下の指定された配達員が専用の腕章を着用し、高知県内でのダイレクトメールの配達に併せて、犯罪発生認知時の警察への通報や、被害者を発見した際の一時的保護、子ども・女性・高齢者等への声かけによる犯罪の未然防止を行うもので、その活動に対して、県警から同社に犯罪や不審者等の情報提供を行うこととしています。

調印式では、片倉由美子ヤマトダイアログ&メディア株式会社代表取締役と小柳誠二高知県警察本部長が署名・押印して協定書を取り交わし、協定が締結されました。

協定締結後の挨拶で、片倉代表取締役は、「我々の取組が、高知県の地域住民の皆様がより安全・安心に暮らすことのできる社会の実現の一助となれば幸いです」等と抱負を語りました。



□ 安全安心まちづくり会報 編集・発行者
高知県安全安心まちづくり推進会議事務局

高知県犯罪のない安全安心まちづくりのページ
<http://www.pref.kochi.jp/soshiki/141601/azenanshin-index.html>



□ 問い合わせ先
高知県文化生活スポーツ部
県民生活・男女共同参画課
〒780-8570 高知市丸ノ内1丁目2番20号
TEL 088-823-9319 FAX 088-823-9879
E-mail:141601@ken.pref.kochi.lg.jp